

9・10月の行事予定

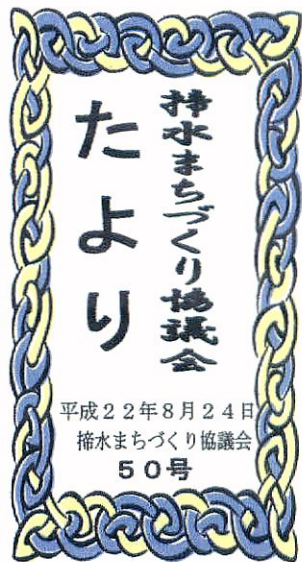
グラウンドゴルフ大会
9月12日(日) 8時30分より
場所 掬水小学校運動場
合同自主防災訓練
10月 3日(日) 9時より
場所 掬水小学校運動場

今年は何としても成功を
と心の中心の中
で折り返しな
がらの準備
がら作業で
した。ま
つりは、ま
協議会の
テーマで
あります
「みんな
が元気で



曇った〜!!

大成功！ 掬水夏まつり



平成22年8月24日
掬水まちづくり協議会
50号

仲良く楽しいまちづくり」を掲げ、一人でも多くの方の参加を願って、朝7時の打ち上げ花火でまつり気分を盛り上げました。



今年のまつりは、豊原町の間瀬善樹さんを部長とする産業振興部の皆さん6名が何度も何度も会議を開き企画し、準備に参加する人々に説明会を開き、やっと開催に漕ぎ着けていただきました。まずは大成功です。各自自治会の皆様は数日前から夜の準備に掛かり、作った品物が少しでも残らないよう試作し、皆が何度も相談をしました。また仕入れた品物が少しでも子どもたちに気に入るように吟味を繰り返し悩みました。このように、まちづくり協議会組織の皆

今年夏まつりは、天候の心配もなく、7月31日に盛大に開催することができました。開催にあたり、地域振興部では、4月から6回の部会を開き本番に備えてまいりましたが、前日の準備から本番にかけて、色々な問題が起こりました。しかし、地域の方々の協力のおかげで無事に終えることができ、改めてこの夏まつりが地域の方々に支えられて成り立っていると痛感いたしました。

さて、今後夏まつりを運営するにあたり、地域の方々のより

掬水夏まつりを終えて

地域振興部長

間瀬 善樹

様にはいろんなところで大変な苦勞をしていただきました。協議会テーマの推進に大いに貢献をしていただき、地域の絆は一段と増したと喜んでいきます。心より地域の皆様にはご理解とご協力を感謝いたします。ありがとうございました。

今回は、地域振興部長・間瀬善樹さんのごあいさつとチケットの販売状況について掲載させていただき、細かい反省は次回とさせていただきます。

品名	前売 売上高	当日 売上高	売上高計
おにぎり(2個入)	38,100	8,100	46,200
焼きそば	62,850	5,400	68,250
綿菓子	10,900	3,350	14,250
かき氷	33,800	17,600	51,400
輪投げ	29,600	5,400	35,000
スーパーボール	21,700	1,300	23,000
ヨーヨー風船	20,900	4,100	25,000
フランクフルト	35,800	4,200	40,000
とうもろこし	26,500	3,500	30,000
カステラアイス	18,800	14,400	33,200
ポップコーン	9,550	2,950	12,500
合計	308,500	70,300	378,800



身近で子ども達の思い出に残るものにするためにはどうすれば良いのかを、地域振興部の6名

(橋本弘三・迫忠志・堀田卓司・池田稔・後藤仁・間瀬善樹)で話し合いを持ちました。そこで、もつと地域の方々の考えを聞くためにアンケート調査を実施してはどうかという意見が出ました。例えば、演技発表の数や時間、踊りの終了時間など、細かいことでも聞かせてもらうべきだという事になりました。来年も地域振興部が中心となり夏まつりを開催する場合には、早い時期にアンケート調査を実施し、幅広く皆様の意見を聞かせていただきたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、夏まつりを無事終える事ができましたのも、自治会長をはじめ、体育委員、公民館の各種団体、消防団、そして地域の自治会の皆様の献身的なご協力によるものでございます。改めて、心より厚くお礼を申し上げます。私の挨拶といたします。ありがとうございました。

お祭りで出来た
つながり

豊原町第2町内会長
宮崎 法子

今年は例年になくたいへんな暑さの中、大勢の方にご参加いただきました。ありがとうございます。ゆかたを着て参加していただいた方もいて、夏らしい祭りの雰囲気作りに一役かっただけでした。

準備にたずさわった方々もお疲れ様でした。強烈な日射しの中、日中から汗を流していただいたり、何日も前から夜店の準備に走りまわっていた方々、何度も練習を重ね成果を披露してくださった方々など本当に多くの方の「やるぞ」という意気込みをお互いに感じられるお祭りとなりました。

一人一人の発言と行動力が暑さに負けないお祭りを作り上げ、無事成功へと導いたように思います。

豊原町ではお祭りの直前にみんなで集合写真を撮りました。とても良い記念になりました。このまとまりは他に負けないという思いが今も沸いてきます。



「お祭りで出来た」つながり。今後も大切にして、地域の貢献にいつか役立っていけばよいと考えています。

「櫛田川クリーン作戦」の活動が表彰される!

7月20日(火)、津市の三重河川国道事務所第2庁舎2階大会議室にて国土交通省中部地方整備局・三重河川国道事務所長より河川愛護の感謝状をいただきました。

毎年7月1日から7月31日は「河川愛護月間」です。この月間は河川についての理解と関心を

を深めるとともに、河川愛護の意識を高めることを目的としています。

この度、河川の美化や愛護等に顕著な功績のあった団体として、掃水まちづくり協議会が河川愛護表彰をうけました。河川愛護団体としては県下で1団体、掃水まちづくり協議会だけという大変名譽な表彰です。代表として森坂亨司運営委員長、西村博次環境美化部長に参列いただきました。

今年で第5回を迎える「櫛田川クリーン作戦」の活動は、大勢の皆さんの参加によって支えられています。今年もみんなで協力して櫛田川をきれいにしましょう。



下段左から二人目が森坂さん、三人目が西村さん

「四国八十八ヶ所霊場 歩き遍路」物語(六)

豊原町 岩塚 章

「行ってきます」 民宿の皆さんに見送られて四国遍路の第一歩を踏み出した。リュックに背負いきれないほどのしがらみを、一歩一歩踏みしめる四国の道。長い長い苦難の旅が始まった。

「なんでよい年をしてそんな厳しい旅をするんや」

「ウン。この旅をしなくてはならない何かを背負って生きて来たんだらうなこの俺は」

「だれだつてまともに生きて来たやつはいないよ。お前一生懸命生きて来たじゃないか」

「いや、いやザンゲしなくてはならない生き方ばかりして来たからな」

「そうか、そうか体に気をつけてな。あまり無理するなよ。何かあったら電話して来い」

こんなぐうたらな俺をこれほどまで見てくれたのか。思えば良き友を持ったものだ。この七十年を考えさせられながらの旅が始まった。

第二番極楽寺に着いた。御灯明、線香、さい銭を供えて般若心経を誦える。これで戻ることは出来ない。そ

んな決意が湧いて来た。何かこんな男でも、そんな気持ちにさせてくれるのが四国遍路道なのか。一歩歩むごとにこのぐうたらな男でもその気持ちにさせてくれる不思議な道のように思えた。

第三番金泉寺から第四番大日寺に行く歩き遍路道が「これが遍路道なんだな。」そんなことを教えられているような道だ。田圃の畔を歩いたり、竹藪の細い道を歩いたり、小川に架かっている丸太の橋を渡ったり、これから四国一周 遍路道の見本を教えてください。第五番地藏寺をお参りし、今夜泊る第六番の安楽寺に着いたのが夕方四時半。風呂に入り洗濯を済ました食。その時食前の言葉が

「一粒の米にも、万人の苦勞を思い。一滴の水にも天地のご恩徳を感謝し、ありがたいただきます」

御仏への、いや生きている感謝の気持ちをお伝えられたような一日目の歩き遍路道であった。

つづく



一番靈山寺水子像